

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	博物館資料論					授業形態		講義		
科目コード	710102	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長津 宗重									
授業概要	本授業の目的は、学芸員として博物館活動の原動力となる博物館資料の意義・種類を理解した上で、博物館資料の収集・整理・保管・活用に関する理念や方法及び博物館における調査研究活動・方法・内容について学びます。									
関連する科目	博物館概論を事前に、履修後に博物館資料保存論・博物館展示論を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業においては当日に配布した資料を利用して授業を展開します。導入部では関連する新聞記事等を利用する場合もあります。授業で学んだ視点に基づいて見学した博物館に関するレポートを作成し、授業時に各自で発表を行う。									
授業計画 【第1回】	博物館資料とは何か 博物館資料の意義と種類について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	博物館資料化の過程 博物館資料が博物館に受け入れられ、展示や教育活動に活用されるまでの多くの過程について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	博物館資料の収集の理念と方法 博物館の目的・性格による資料収集の理念と寄贈・寄託などの具体的な方法について学ぶ。									
授業計画 【第4回】	博物館資料の分類・整理、保管 資料の学問領域による分類、一次資料・二次資料の分類、目的別資料の分類など様々な分類について学ぶ。									
授業計画 【第5回】	博物館資料の公開の理念と方法 資料公開の理念と、博物館における第一の資料公開の方法である展示・その他の公開の方法について学ぶ。									
授業計画 【第6回】	博物館における調査研究の意義・方法・内容 博物館における主体的な活動である調査研究の意義、その内容・カテゴリー・目的・期間・有効性について学ぶ。									
授業計画 【第7回】	宮崎県総合博物館における博物館資料と調査研究 2つ以上の分野を統合した展示や教育活動を行っている総合博物館の具体的事例として宮崎県総合博物館における博物館資料と調査研究について学ぶ。									
授業計画 【第8回】	宮崎県立西都原考古博物館における博物館資料と調査研究 発掘調査などで出土した考古資料をもとに活動する歴史系博物館である考古博物館の具体的事例として宮崎県立考古博物館の博物館資料と調査研究について学ぶ。									
授業計画 【第9回】	他の博物館における博物館資料と調査研究 美術館と植物園の具体的事例として宮崎県立美術館と宮崎県立亜熱帯植物園の博物館資料と調査研究について学ぶ。									
授業計画 【第10回】	ほかの博物館・大学との共同調査研究 共同調査研究の必要性・組織づくり・在り方・役割と意義・課題について学ぶ。									
授業計画 【第11回】	調査研究の成果公表と還元 研究成果とは何か、博物館における成果公表の特質、その利用者、還元システム地域社会への還元、市民との協働体制などについて学ぶ。									

授業計画【第12回】	博物館資料の取り扱い 美術系資料、考古系資料、古文書・アーカイブス資料、民俗資料、自然系資料などの取扱いについて学ぶ。
授業計画【第13回】	博物館資料の活用 博物館資料の展示活用、教育的活用、情動的活用などについて学ぶ。
授業計画【第14回】	全国各地の博物館における博物館資料の活用事例 授業で学んだ視点に基づいて見学した博物館に関する受講生のレポートの発表を聞き、全国各地の博物館における活用事例について学ぶ。
授業計画【第15回】	博物館資料の今後と課題 収集の困難さ、展示と保存のバランス、資料の情報化などの観点から博物館資料の今後と課題について学ぶ。
授業の到達目標	博物館活動の原動力となる博物館資料は博物館の収集方針に基づいて学芸員による収集・整理・調査研究によって価値づけられることを理解し、博物館資料に関する基礎的能力を養う。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学修【予習】	なし
授業時間外の学修【復習】	配布資料を読んで授業内容を確認すること。
課題に対するフィードバック	定期試験は試験後に解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 定期試験 (80点) 2) レポート (20点)
テキスト	授業毎に配布した資料
参考書	博物館学 I 博物館資料論 大堀 哲・水嶋英治編著 (学文社) 新版博物館学講座 5 博物館資料論 加藤有次他編集 (雄山閣出版) 新版博物館学講座 6 博物館調査研究法 加藤有次他編集 (雄山閣出版)
備考	1981年は宮崎県総合博物館学芸課の考古担当として特別展「古代の九州人展」・考古資料の館蔵品目録作成等を行う。1993年～1995年は宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターで発掘調査された遺跡の展示・講座などの埋蔵文化財保護普及活動を担当するとともに、総合博物館のリニューアル展示構成に関わる。2017年～2020年は宮崎県総合博物館学芸課の考古担当として調査研究・館蔵資料の整理以外に展示・講座等の教育普及を行う。宮崎県総合博物館学芸課の考古担当の経験から考古資料を中心として、歴史・民俗資料の歴史、動物・植物・地質資料の自然史を含めてその違い・取り扱いなどを具体的に教授することができる。